

OSS関連団体同士の連携に向けて、 まずはOSSコンソーシアムの紹介から

2019年3月27日

OSSコンソーシアム 広報委員会 溝口則行

日本OSS推進フォーラムの他にも、OSS関連の団体がいくつ
か、数え方によってはたくさんあります。なにがしかで「連携し
たいよね」という会話が、いろんな団体の中で出ているみた
いです。今回は、前半にOSSコンソーシアムを知っていただく
ことから。後半は、異なる団体に連携してどんなことができる
のかの意見交換ができれば嬉しく思います。

◆◇ 本日のコース ◇◆

● ~~OSC東京春のLTから~~

公開資料からカットしましたが,こちらで晒されてます。↓

<https://www.ospn.jp/osc2019-spring/modules/article/article.php?articleid=5>

● OSSコンソーシアムの紹介

● [ご意見拝聴] 異なるOSS団体同士の連携は？



OSS Consortium

オープンソース
ソフトウェアを
通じてビジネスに加速を



無料セミナー
講師派遣

OSS 之助(おすのすけ)をよろしくお願ひします

<http://www.osscons.jp/>



- OSSコンソーシアムはこんな団体です

- 部会と運営組織

- AI IoT Robotics Automotive部会
- オープンCOBOLソリューション部会
- 開発基盤部会
- 教育ICT部会
- クラウド部会
- データベース部会
- 東海支部
- ビジネスアプリケーション部会
- 分散コンピューティング部会
- スタッフ (役員・事務局)

- コンタクト先



OSSコンソーシアムはこんな団体です

OSSコンソーシアムはこんな団体です

●【目的】

- 会員企業（ユーザ）のOSS採用促進
- 会員企業（ベンダー）のOSSビジネスの推進
- OSS市場の活性化貢献

●【基本ポリシー】

- ビジネスとしてのOSSをメインテーマとして、OSS市場活性化に向けた問題点の解決や利点の発展を活動主眼とする。
- 前項実現のためには、会員間での協力による効率的なアウトプットを行うことを心がける。
- ユーザが参画できるようなコンソーシアム環境の整備及び活動の実現を目指す



わかりやすく話すと…



- OSSの価値観を大事にしている企業メンバが集まったビジネスコンソーシアムです。
 - 仕事に役立てられる活動をしたいと思っているメンバが中心ですが、会員各位の参加の動機はとても様々だと思えます。
- テーマを共有できるメンバと一緒に部会活動をするのが、最大の売り物です。
 - 会員同士の取引関係はあったりなかったりいろいろですが、そこは重要ではありません。
- 他社と集まれることにメリットと喜びを感じているメンバが多いので、懇親会は公式・非公式によくあります。

参加することができること

● 部会活動

- 参加部会数や参加人数に制限はありません。
- 部会やイベントによってはゲスト参加も可能です。

● 他社との交流の場

- 部会, 委員会, 懇親会, イベント出展, などなど

● Webサイトやメルマガを使った自社活動の告知やアピール

- OSSに関連している必要があります。

● 部会活動や出展イベントの場で会員企業の製品・サービスをテーマにすることも可

- 正会員として部会活動の主要メンバになっていただく必要があります。



いろいろな参加のしかた(会員種別)

会員種別		対象／年会費	メリット
ビジネス会員	理事会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事企業 ・ 96,000円(不課税) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 議決権 ➢ 部会の参加 ➢ 各種サービスの利用 ➢ OSSコンソーシアム主催イベントでの関連カタログの配布
	一般会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ OSS関連のテクノロジーそのものでビジネスを実施もしくは計画されている企業、団体・個人 ・ 60,000円(不課税) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 投票権 ➢ 部会の参加 ➢ 各種サービスの利用 ➢ OSSコンソーシアム主催イベントでの関連カタログの配布
	準会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会員の期限付き試用会員 ・ 無料 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 投票権はなし ➢ OSSコンソーシアム主催イベントでの関連カタログの配布もなし ➢ 登録のみで参加可能
	賛助会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ OSS関連のテクノロジーを利用している個人 ・ 活動運営費として年間一口(6000円)以上の寄付 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 部会の参加 ➢ 各種サービスの利用
メルマガ購読		<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナーに申し込みされた方, Webサイトから購読を申し込みされた方 ・ 無料 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ メルマガ配信

会員種別

部会・運営組織

部会一覧 (2018年度)

- AI IoT Robotics Automotive部会
- オープンCOBOLソリューション部会
- 開発基盤部会
- 教育ICT部会
- クラウド部会
- データベース部会
- 東海支部
- ビジネスアプリケーション部会
- 分散コンピューティング部会

部会の構成や名称は
ときどき変わります



IoT/組込み/人工知能分野におけるOSSの普及・利用の促進を行う

- IoT/組込み分野、ロボット/自動運転とそのため的人工知能(AI)分野などで使用されるOSSの情報収集、議論、情報共有を行います。また、当該分野におけるOSSの普及・利用の促進に向けた活動を行います。

● 部会リーダー



(株)アックス
代表取締役会長 竹岡 尚三

ユニテックシステム(株)
法務部 部長 宇田川 勝一



基幹システムへのopensource COBOLの普及促進を図る

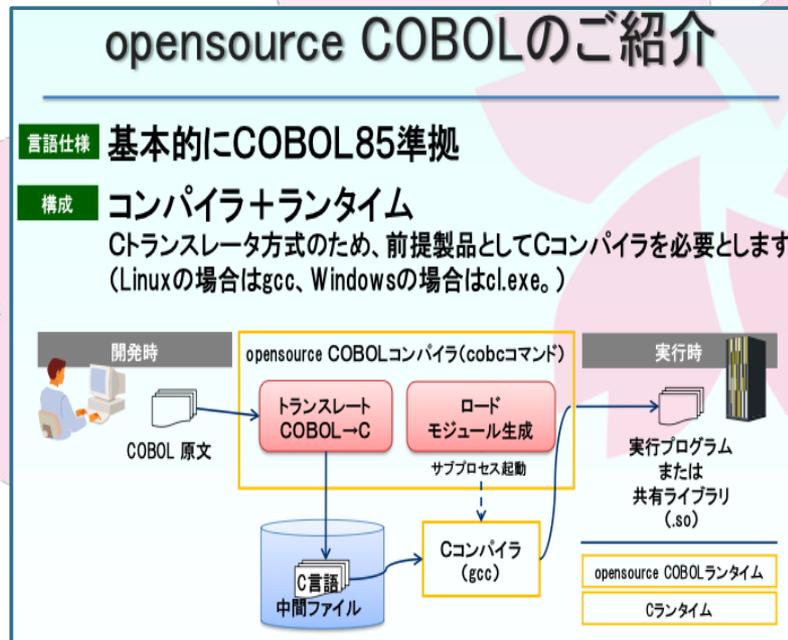
- プロプライエタリな環境が一般的なCOBOLの開発においてもオープンソースのメリットを活かすため、OSS COBOLを技術・ビジネスの両面からサポートできるように整備していき、基幹システムにおけるOSS化の普及・促進を図ります。

● 部会リーダー



(有)ランカードコム
取締役 峰松 浩樹

東京システムハウス(株)
井坂 徳恭



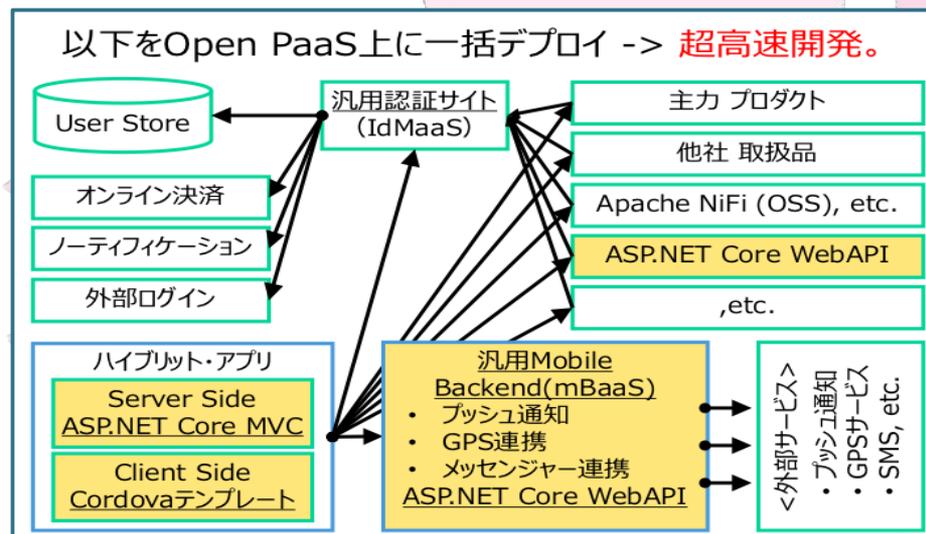
企業のITインフラのポートフォリオの拡充

- issueを解決するために使用する各種オープンな要素技術やプラットフォームを、幅広い開発技術を用いてパッケージ(統合)する。また、その際の効率向上も行う。そして、これら技術的アウトプットを継続的に公開する。

- 部会リーダー



(株)日立ソリューションズ西日本
技師 西野大介

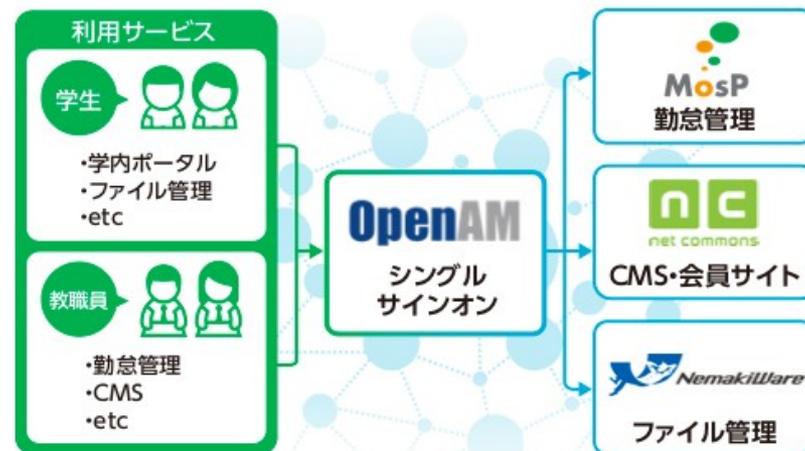


大学、研究機関などへのOSS導入を促進

- 大学や研究機関などに最適なOSSを導入するための製品情報を収集し、サポートやソリューション情報をセミナーやWebで情報公開します。

大学向け オープンソース・ソフトウェア活用ガイド

学内システムのオープンソース化 ⊕ シングルサインオン



● 部会リーダー



(株)オープンソース・ワークショップ
代表取締役 永原 篤

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)
代表取締役 小田切 耕司



オープンソースを活用したクラウドの普及促進を行う

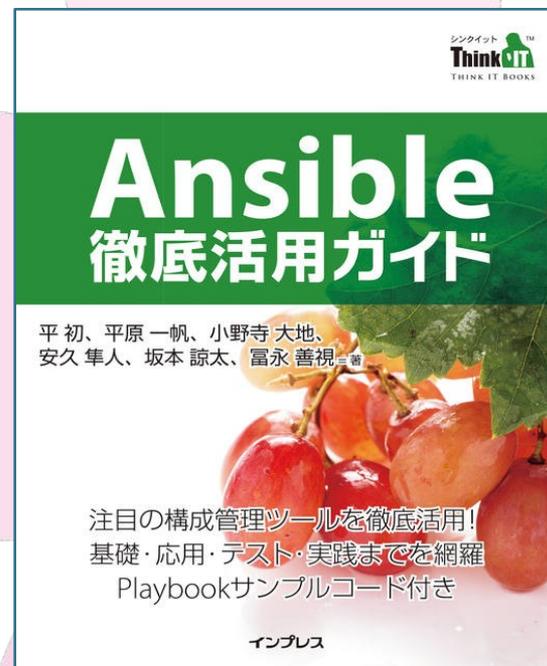
- クラウド構築にあたり活用できるオープンソースを調査・研究及び情報交換を行い、現時点での活用可能なオープンソースのマップを作成し、参加企業の方々と情報共有することで、クラウドビジネスでのオープンソースの活用を推進していきます。

- 部会リーダー



OSSコンソーシアム
顧問 吉田 行男

ユニアデックス株式会社 ITOサービス本部
本部長補佐 兼 ITOコンサルティング部 部長 田淵 秀



データベース領域でのオープンソースの更なる 発展促進を図る

- 特定の製品にとらわれず、第三者的な立場で様々なデータベースの情報を収集し、それらをユーザ・ベンダにフィードバックする機会を提供します。また、データベースの垣根を越えたイベントなどを開催します。



● 部会リーダー



TIS(株) IT技術基盤本部
IT基盤技術推進部 主査 山本文彦

(株)デジタル・ヒュージ・テクノロジー
代表取締役 鷗川 徹



東海地方のOSSのビジネス利用促進を図る

- 東海地方において、OSSの利用促進とともに、ビジネス拡大を図ります。調査、勉強会およびセミナーを通じて、OSSを広く知ってもらい、導入利用のサポートおよび開発など、この地域のOSSビジネスの受け皿となるように活動していきます。

- 部会リーダー



(株)パドラック
代表取締役 杉本 等

後援: オープンデータ浜名湖 Night (全9回)



3/3 後援: 「地域の情報を地図にしよう!」～オープンデータデー2018 in Kosai～



オープンソースビジネスアプリケーションの普及促進を行う

- ビジネスアプリケーションレイヤーにまで浸透してきているOSSですがユーザーに対するメリットの説明不足や、信頼性に関する誤解が多々見受けられます。それらの誤解を払拭すべく、積極的に啓蒙活動を行います。

- 部会リーダー



(株)ゼンク
代表取締役 増田 芳憲

(株)イージフ
CTO 石井 昭紀



基幹業務を中心にOSS業務アプリ導入を支援する企業、個人が参加しています



オープンソースな分散コンピューティング技術の普及促進

- オープンソースな分散コンピューティング技術は、ニアリアルタイムのストリーム処理も可能な技術に発展し、IoTやAIなどの基盤技術となっています。本部会では、Hadoop/SparkやAsakusa Framework等、オープンソースな分散コンピューティング技術の情報収集・情報交換及び公開を行い、導入活用に向けた普及促進を行います。

● 部会リーダー



(株)日立ソリューションズ
技師 才所 秀明

(株)ノーチラス・テクノロジーズ
代表取締役社長 目黒 雄一



分散コンピューティング関連技術(の一部)

検索/可視化

データフロー

AI/Deep Learning

分散バッチ

分散ストリーム

分散クエリエンジン

カラムナ・フォーマット/
ストレージエンジン

Dockerコンテナ &
スケジューリング

スタッフ (役員・事務局)

【会長】
株式会社ビイガコーポレーション
代表取締役
山崎 実



【顧問】
サイバーコム株式会社
代表取締役社長
渡辺 剛喜



【顧問】
OSSコンソーシアム
吉田 行男



【理事】
株式会社アックス
代表取締役会長兼社長
竹岡 尚三



【理事】
オープンソース・ソリューション・
テクノロジー株式会社
代表取締役 チーフアーキテクト
小田切 耕司



【理事】
株式会社オープンソース・
ワークショップ
代表取締役
永原 篤



【理事】
サイバーコム株式会社
取締役 執行役員
白井 博幸



【理事】
株式会社ゼンク
代表取締役
増田 芳憲



【理事】
株式会社デジタル・ヒュージ・
テクノロジー
代表取締役
鵜川 徹



スタッフ (役員・事務局)

【理事】
TIS株式会社
IT基盤エンジニアリング第1部
エキスパート
溝口 則行



【理事】
株式会社パドラック
代表取締役
杉本 等



【理事】
株式会社日立ソリューションズ
研究開発部 生産技術研究グループ 主任
才所 秀明



【理事】
株式会社マインド
代表取締役社長
屋代 和将



【理事】
三菱電機インフォメーション
システムズ株式会社
産業・サービス事業本部 部長
小林 敦



【理事】
ユニアデックス株式会社
クラウドITOサービス事業本部
本部長補佐
田淵 秀



【事務局】
オープンソース・ソリューション
・テクノロジー株式会社
寺井 ・ 今井



【マスコットキャラクター】
OSS之助 (おすのすけ)



コンタクト先

- ご関心のある方は…
 - 部会にゲスト参加してみてください。
 - 運営委員会の見学もできます (毎月開催)。
 - 総会は毎年公開で開催 (6～7月)。
- 参加してみたいが迷われている場合は…
 - 準会員制度をご利用ください (6ヶ月間)。

● Webサイト

<https://www.osscons.jp/>

● メルマガ申込

<https://www.osscons.jp/ezine/>

● 会員申込

<https://www.osscons.jp/aboutus/joinus/>

● 各種お問い合わせ

<https://www.osscons.jp/contactus/>

● Facebook

<https://www.facebook.com/ossConsortium/>

部会予定など

- Webサイトトップページで部会やセミナーの開催予定を公開しています。

部会&セミナー開催情報

2018 09

	日	月	火	水	木	金	土
1週	26	27	28	29	30	31	1
2週	2	3 gihyo.jp記事 掲載 (DB...	4	5	6	7	8
3週	9	10	11 15:30-17:00 【教育 ICT & BA部 会】 17:00-18:30 部会発表&運 営委員会	12	13 16:00-17:30 【DB部会】 16:00-17:30 【DB部会】	14	15
4週	16	17 敬老の日	18	19	20	21	22
5週	23 秋分の日	24 (振替休日)	25	26	27	28	29
6週	30	1	2 17:00-18:30 【教育 ICT & BA部 会】	3	4	5	6

ときどき更新をサボってます…



OSS
Consortium



お気軽にご参加ください
(会員一同)

まずは無料メルマガから
<https://www.osscons.jp/ezine/>
(広報委員)

お問い合わせだけでも大丈夫です!
(事務局)

本資料はLibreOfficeで作成しています。



[ご意見拝聴]
異なるOSS団体同士の連携は？

なぜいろんな団体が立ち上がるんでしょうね？

● 以下は溝口の私見です:

● やりたいことを, やりたいように

- 個別OSSごとに, ひとつ~複数のグループが...
- ノンジャンル(総合)の団体もこの傾向あり

● 博愛主義的だけど, 選り好みもする

● 規模の拡大や, 長いものに巻かれる指向は無い

一緒に“なにか”をする意義はありますか？

- 団体間で共有できる“目標”はあるでしょうか？
 - 「OSSをもっと広めたい」(知ってほしい & 使ってほしい)
 - いろんな団体があることも知ってほしいかな？
 - (ビジネスコンソーシアムでは)
結果的に仕事が増えればみんなうれしい？

- 例① OBCI & OSScons
 - OSCで共同セミナー枠: 講演 + パネルディスカッション

- 例② クラウド時代のOSS活用調査(METI)
 - 手前味噌ですみません
 - ちょっと古いです (2014~15年)

ご意見拝聴 & ディスカッション